

「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」



学校教育目標

おおらかで たくましく
進んで学ぶ子
地域とともに生きる子



新座市立東野小学校

令和5年 6月30日(金)

TEL: 479-7280 FAX: 482-6794

HP: <http://www.c-niiza.ed.jp/e-higashino/>

可能性は0じゃない

校長 齋藤 伸一

いよいよ7月に入ります。早いもので1学期も残すところあと3週間となりました。1年生が育てているアサガオのツルがぐんぐん伸び、色とりどりの花が咲き始めました。また、2年生が育てているミニトマト、ナス、オクラ、ピーマンなどの野菜も、子供たちのお世話でぐんぐん成長しています。登校するや否や、水をあげるために一目散に走る子供の姿は、心あたまる風景です。

さて、1学期のまとめの時期となります。1学期で学ぶべきことをしっかり学び、身に付けてほしいと思います。そして、7月21日から始まる楽しい夏休みを迎えてほしいと思います。

そこで、まとめの時期を迎えるにあたり、子供たちの「可能性」について私なりの考えを述べます。子供たちは、それぞれ、理想の自分像をもっていると思います。例えば、もっと勉強がわかるようになりたい。テストでいい点数を取りたい。もっと足が速くなりたい。サッカーが上手になりたい。もっと友だちと仲良くなりたいなどです。こんな自分になりたい、こんなことができるようになりたい、将来、こんな仕事につきたいなど、子供たちそれぞれに、こうなりたいという思いや目標、夢や希望がきっとあるはずです。

子供たちは、これから、どんな自分にもなれるし、どんな夢も叶えられる、可能性が0ではなく、無限にあると思います。しかし、一つ一つの行動がいい加減だったり、何も努力をしなかったりすれば、どんどん、どんどんその可能性が0に近づいていきます。また、自分は、勉強がわからないし、苦手だし、嫌いだし、才能ないし、運動神経悪いし、友達になかなか話かけられないから仲良くなれないしなどと、最初からあきらめたり、人のせいにしたりしては、なりたい自分に、理想の自分にはなれないと思います。さらに、2学期になってからがんばればいいやと後回しにすればするほど、可能性がどんどんなくなって、0に近づいていきます。

可能性がある、まさに今、少しでも努力を続け、あきらめずに頑張ることで、どんどん可能性が100に近づきます。学校生活では、一人ではなく、多くの友だちと集団として関わりながら、学習、運動、生活など様々なことに取り組むことを通して、知識や技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力や人間性を身に付けていきます。一つ一つの行動をしっかり意識して行動することで、また、一生懸命に何事も頑張ることで、なりたい自分、理想の自分にきっと近づけるはずです。

「可能性は0じゃない」学校では、子供たちの可能性を0にしないように、可能性を100に近づけられるように、子供たちがなりたい自分に向かって、子供たちが自分の夢や希望に向かって頑張れるように、全職員で支援してまいります。



スクールメールでもお知らせいたしました。新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行し、これまでの学校運営の状況や給食指導の意義を踏まえ、県の感染防止対策ガイドラインを遵守し、7月より対面給食を完全実施いたします。そこで、改めて、給食の時間を食育の観点からも取り組んでいきます。給食の時間では、楽しく食事をする、健康によい食事のとり方、給食時の清潔、食事環境の整備などに関する指導により、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通してよりよい人間関係の形成を図っていきます。大声を出したり、飛沫を飛ばしたりしないように十分注意してまいりますので、保護者の皆様にはご理解をお願いいたします。